

岐阜県料理生活衛生同業組合

HACCPシステム導入に向けたIT活用による効率化向上と
収益力向上事業（DXに取り組みHACCP導入を効果的に進める）

2022.7～2024.12 中間報告

事業の変遷

2022年度

先に試行されたHACCP対応ソフトの問題点の中から、記録の自動化に取り組むことで、日常業務における負担の軽減と、記録漏れなどを無くすことをIT活用によって効果検証した。

利用者の声から、記録の自動化は人材不足による日常業務における負担の軽減と、記録漏れなどを無くすことに一定の効果を上げることが出来た。

2023年度

2022年度事業では、設置台数の制限を行ったことで、事業者毎のニーズに柔軟な対応が取れず、DXによる作業の効率化についても、十分目的を達成したとは言えなかった。

2023年度は事業継続により料理生活衛生同業組合の会員に対する事業成果の拡散を行うと共に、積極的なHACCPの導入サポートプログラムを実施して、アプリの導入のみでは解決できなかった問題についても取組み、組合員が低ランニングコストで、確実且つ抵抗なく導入できるシステムを小規模事業者に対し拡大させた。

2024年度

2年間にわたる事業によって、小規模（冷蔵庫の台数が10台以下）の事業者では、施設ボリュームにあった台数設置を行うことで、組合員からも好評価を受けることになったが、組合に加入する中～大規模事業者に対する実証実験が未達で有った為、5事業者の協力の下実証実験を行うこととなった。中間報告の結果は以下の通りである。

回答率 5/5

- 取付け前に比べ保冷库1台辺りの温度記録の手間に掛かる時間はどうなりましたか？
減った 5/5 変わらない 0/5 増えた 0/5
- 増加又は軽減とお答えになった方に伺います。増減は1台あたり何分程度ですか？
－10S：1/4 －2分：2/5 －2～3分：2/5
- 取付け前に比べ記録用紙の量はどうなりましたか？
減った 5/5 変わらない 0/5 増えた 0/5
- 取付け前に比べ記録漏れの頻度はどうなりましたか？
減った 5/5 変わらない 0/5 増えた 0/5
- 記録のデジタル化は、HACCPの導入を助けると思えますか？
成ると思う 5/5 どちらとも言えない 0/5 成らないと思う 0/5
- 今回の事業はよい取り組みでしたでしょうか？
良い取り組みだと思う 5/5 どちらとも言えない 0/5 良いと思わない 0/5

取付け実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
取付け事業者数	20	24 (29)	5	49 (54) 件
平均取付台数	4	6.2	1.2	5.9 台
総取付台数	80	180	60	320 台

() は令和4年度取付け事業者の内追加取付の希望により行った事業者を含む数値

※ 平均的な収益力向上効果の試算

アンケートより、データロガーを導入することによる、労働力削減効果は以下の通り
1日3回の温度記録を行った場合の概算値

3回×2分×365日＝36.5時間

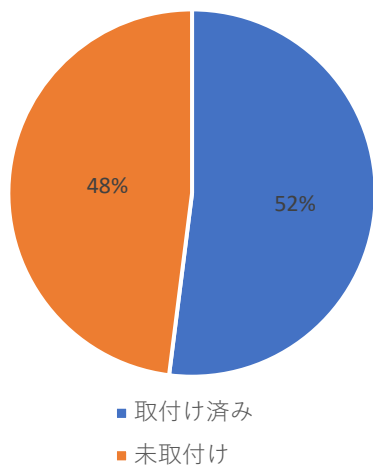
岐阜県の最低賃金：1,001円×36.5時間＝36,537円／年

小規模事業者：36,537円×平均導入台数6.2台＝226,529円／年

大規模事業者：36,537円×平均導入台数1.2台＝43,844円／年

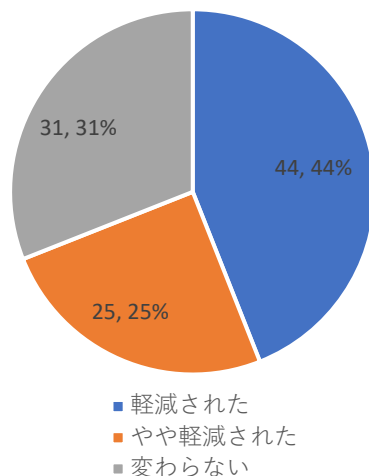
HACCPシステム導入に向けたIT活用による効率化向上と収益力向上事業（DXに取り組みHACCP導入を効果的に進める）

データロガー取付け比率



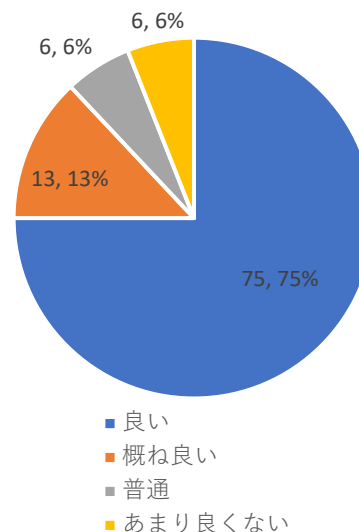
組合員の52%に導入された

作業時間は軽減されたか



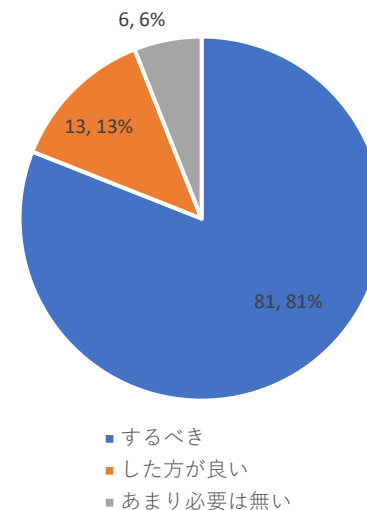
組合員の約70%が作業時間が軽減したと回答した

取り組みに対する評価



組合員の約89%が取り組みを良い又は概ね良いと評価した

今後もIT活用を推進するべきか



組合員の約95%がIT活用を今後も推進するべきと答えた